

意見

回答等

資料3「基本目標」の項目番号は、施策・個別事業に合わせて1～40の追番を記入。	資料3「健康増進計画の進捗状況調査」においては、「健康増進計画」の個別事業に記載されているとおりの番号で附番している。追番にすると計画上の番号と異なり、誤解が生じる恐れもあるため、現状のとおりとする。
今後の方向性…「拡大」「継続」「縮小」「検討」「廃止」の5項目のうち「縮小」を削除してはどうか？（他部署：4項目）今回は、「拡大」「継続」「検討」の3項目の記載。	ご指摘のとおりに、次回より「縮小」は削除する。
資料4「事務報告書」（1）224ページの（11）乳幼児歯科相談室、（12）妊婦歯科健康診査の受診率は、申込者数に対する受診者数の割合では意味がない。（対象者数（人）に対する受診者数（人）とするのが基本。	（11）乳幼児歯科相談室については、対象者が広範囲に渡るため対象者数を算出するのは困難。妊婦歯科健康診査については、従来の集団健診に加えて個別健診も実施予定のため、割合の算出方法の変更を検討する。
資料4「健康講演会」の受講者数が少ない。提案として、「電話での申込み」ではなく、「直接会場へ、定員30名優先」などを記載してはどうか。	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、受講者人数を15名に減らしているため、これまでの健康講演会はほぼ満員となっている。コロナの収束後は、従来の定員に戻す予定のため、定員に満たない場合はホームページ等で、周知したい。
次回以降の健康講演会の予定	令和3年1月に医科、令和3年3月に歯科の健康講演会を実施予定。
資料4「胃がん検診」の対象者は35歳以上ですか？「40歳以上の方」と記載されている書類もある。集団・個別に関して市報には記載なし。	胃がん検診について、令和元年度までは35歳以上が対象だったが、令和2年度より都の指針に合わせて「胃部X線検査」は40歳以上で集団方式、令和2年度より新しく開始した「胃内視鏡検査」は50歳以上で、市内契約医療機関における個別方式となっている。

<p>資料5-1 「がん検診の受診率向上施策」がん検診率は、目標値より低い。受診率を上げるために無料化にしてはどうか？</p>	<p>がん検診の受益者負担については、平成29年3月に策定された「小金井市行財政改革プラン2020」に基づき、当時の健康づくり審議会においても協議され、受益者負担導入が認められた経緯がある。平成30年度に大腸がんと子宮頸がんの受益者負担を導入したが、前年度と比べて受診者数に大きな変化はない。よって、他の方策で受診率向上に努めるが、ただし、非課税世帯については、今年度から受益者負担額の償還払いを実施する予定である。</p>
<p>資料5-2 「胃がん内視鏡」定員300人に対して、申込者数658人の対応策は？</p>	<p>申込者数が定員をはるかに越えたため、お断りをした市民も数多くいるが、対応については現時点で予算措置が決定しているわけではない。</p>